

経 済 水 道 委 員 会
説 明 資 料

令和5年3月13日

上 下 水 道 局

目 次

＜水道事業会計＞

	ページ
1 水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について……………	1
2 水道の水源施設建設負担金について……………	2
3 水道の水源施設管理費負担金について……………	3
4 地震に強い消火栓への取替状況について……………	4
5 水道スマートメータ導入の課題等について……………	5
6 有収水量及び給水収益の推移について……………	6
7 水道事業における主な経費削減の検討項目について……………	7

＜工業用水道事業会計＞

8 工業用水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について……………	8
9 工業用水道の水源施設建設負担金について……………	9
10 工業用水道の水源施設管理費負担金について……………	10

＜下水道事業会計＞

11 下水道整備の主な課題と主な未整備地区について……………	11
12 名古屋中央雨水調整池等の進捗状況について……………	12
13 水処理センターの停電対策について……………	13
14 水処理センターの耐水化について……………	14
15 地域を限定した分流化（三の丸地区）の想定スケジュールについて……………	15
16 堀川上中流部及び新堀川上流部における雨天時水質調査結果について……………	16
17 下水道事業における主な経費削減の検討項目について……………	26

＜共 通＞

18 厳しい経営状況下における広報について……………	27
19 工事請負契約における1者入札の状況について……………	28

1 水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について

(1) 水需要予測

(単位 万m³/日)

目 標 年 次	27年度
一日最大給水量	124

(2) 給水実績

ア 一日最大給水量

(単位 万m³/日)

区 分	3年度	4年度見込
一日最大給水量	79.7	82.2

イ 年間給水量

(単位 万m³/年)

区 分	3年	4年
年間給水量	27,511	27,099

(注) 1月1日から12月31日までの集計値

(3) 河川ごとの給水可能量

(単位 万m³/日)

区 分	木曽川	長良川	揖斐川	計
水利権の給水可能量	160.6	16.1	8.0	184.7
10年に1回程度の 渇水年の給水可能量	106.3	12.1	5.7	124.1
平成6年相当の 給水可能量	81.6	4.8	3.0	89.4

2 水道の水源施設建設負担金について

(単位 百万円)

区 分	～4年度	5年度	6年度～
木 曾 川	41,959 (9,682)	— (10)	— (10)
長 良 川	15,076 (2,095)	—	—
揖 斐 川	33,205 (3,299)	1,417 (442)	12,374 (2,261)
徳山ダム	33,006 (3,299)	1,404 (442)	7,186 (2,261)
木曾川水系 連絡導水路	198	13	5,188
計	90,240 (15,076)	1,417 (452)	12,374 (2,271)

(注1) ()内は一般会計出資金の額

(注2) 端数処理の都合上、内訳の合計と計は必ずしも一致しない。

3 水道の水源施設管理費負担金について

(単位 百万円)

区 分	4年度	5年度
長良川河口堰	5 3	6 2
徳 山 ダ ム	1 2 7	1 2 9

4 地震に強い消火栓への取替状況について

(令和4年度末見込、単位 個)

区 分	消火栓数
給水区域内	43,380
取 替 対 象	4,501
取 替 済	4,129
未 取 替	372

(注) 取替対象は指定避難所に至る耐震化した管路などに設置している旧型消火栓

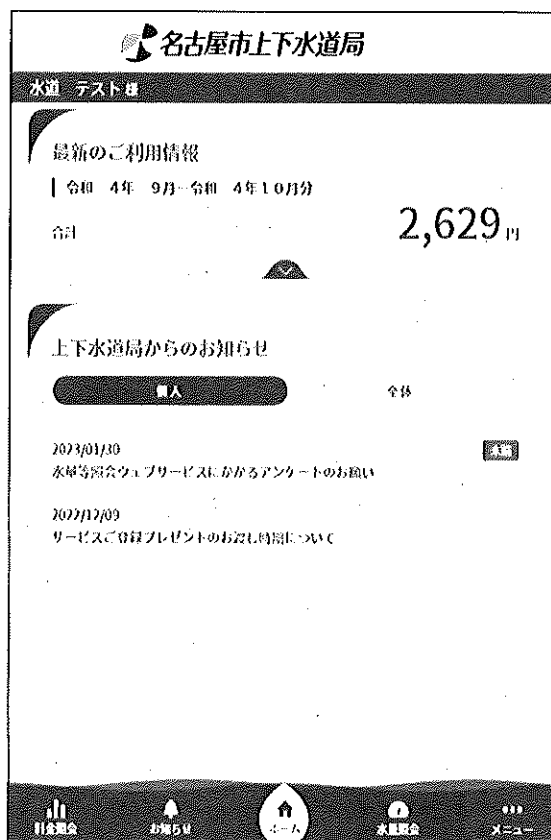
5 水道スマートメータ導入の課題等について

(1) 導入の課題

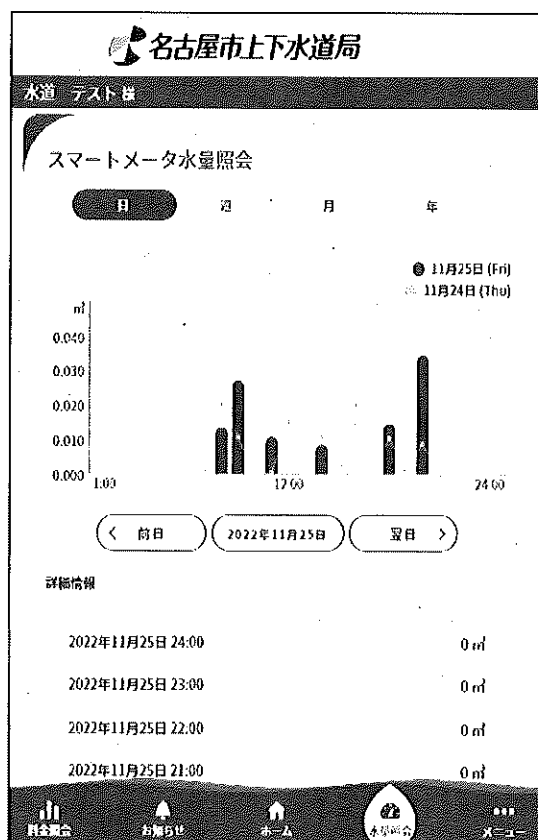
項 目	内 容
導 入 コ ス ト	・メータ本体の購入費及び設置費の増加 ・通信機器の購入費及び設定費の発生 ・通信費の発生
通 信 方 法	・地域特性に応じた通信環境の確保 ・通信困難箇所への対応
データ提供方法	・お客さまニーズに応じたサービス内容 ・サービス内容に適した通信頻度の設定

(2) 実証試験中の水量等照会ウェブサービスの画面例

・ホーム画面



・水量照会画面



6 有収水量及び給水収益の推移について

(1) 有収水量

(単位 千 m^3)

区 分	3 年 度	4 年 度	対前年度 増 減 量	元 年 度
4月～1月計	219, 173	217, 187	△1, 986	219, 874
居 住 用	170, 723	167, 067	△3, 656	164, 452
居住用以外	48, 450	50, 120	1, 669	55, 422

(注1) 3年度の4月～3月計は260, 853千 m^3 (注2) 元年度の4月～3月計は262, 354千 m^3

(注3) 端数処理の都合上、内訳の合計と計及び内訳の差引と対前年度増減量は必ずしも一致しない。

(2) 給水収益

(単位 百万円、税抜)

区 分	3 年 度	4 年 度	対前年度 増 減 額	元 年 度
4月～1月計	33, 883	33, 893	11	34, 981
居 住 用	20, 240	19, 710	△530	19, 158
居住用以外	13, 643	14, 184	541	15, 823

(注1) 3年度の4月～3月計は40, 389百万円

(注2) 元年度の4月～3月計は41, 703百万円

(注3) 端数処理の都合上、内訳の合計と計及び計の差引と対前年度増減額は必ずしも一致しない。

7 水道事業における主な経費削減の検討項目について

(単位 千円)

検 討 項 目	削減見込額
事 務 的 経 費 の 削 減	25,907
施設運用による電力費の削減	487

8 工業用水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について

(1) 水需要予測

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

目 標 年 次	27年度
給 水 量	97,000

(2) 給水実績

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

区 分	3年度	4年度見込
一日平均給水量	62,812	63,200

(3) 河川ごとの給水可能量

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

区 分	庄内川	揖斐川	計
水利権の 給水可能量	93,000	56,000	149,000

(注1) 庄内川からの取水は、かんがい期に限られる等の課題がある。

(注2) その他の水源として、河川の他に下水処理水等がある。

9 工業用水道の水源施設建設負担金について

(単位 百万円)

区 分	～4年度	5年度	6年度～
揖 斐 川	11,020 (1,960)	7 (2)	3,019 (906)
徳山ダム	10,932 (1,934)	—	—
木曾川水系 連絡導水路	89 (27)	7 (2)	3,019 (906)
計	11,020 (1,960)	7 (2)	3,019 (906)

(注1) ()内は一般会計出資金の額

(注2) 端数処理の都合上、内訳の合計と計は必ずしも一致しない。

10 工業用水道の水源施設管理費負担金について

(単位 百万円)

区 分	4 年度	5 年度
徳 山 ダ ム	5 7	5 8

1 1 下水道整備の主な課題と主な未整備地区について

下水道整備の主な課題	主 な 未 整 備 地 区
土地区画整理事業と同調する必要があること	・ 中川区、港区の庄内川西部地区 ・ 守山区の志段味地区
都市計画道路事業などと同調する必要があること	・ 中川区、港区の庄内川西部地区 ・ 緑区の一部地区
公私境界を確定する必要があること	中川区、港区の庄内川西部地区
私道に下水管を布設せざるを得ない状況であること	緑区の一部地区

1 2 名古屋中央雨水調整池等の進捗状況について



1 3 水処理センターの停電対策について

(1) 基本的な考え方

長時間の停電時にも汚水処理機能を確保するため、水処理センターの非常用発電設備の燃料備蓄量が72時間分となるよう機能強化を進める。

再構築事業を進めている堀留、熱田、山崎水処理センターを除く、12箇所の水処理センターについて、11年度末の完了を目指す。

(2) 想定スケジュール

完了年度	名 称
5 年度	打出、鳴海
6 年度	柴田
7 年度	宝神、植田
8 年度～11 年度	名城、岩塚、伝馬町、千年、露橋、西山

(注) 守山水処理センターについては、3年度に対策実施済

1 4 水処理センターの耐水化について

(1) 基本的な考え方

洪水、高潮、津波等の浸水時にも汚水処理機能を確保するため、水処理センターの耐水化を進める。

令和4年度末時点で対策を必要とする6箇所の水処理センターについて、10年度末の完了を目指す。

(2) 想定スケジュール

完了年度	名 称
7 年度	柴田
9 年度～10 年度	守山、岩塚、千年、打出、宝神

(注) 名城水処理センター始め9箇所については、4年度までに対策実施済

1 5 地域を限定した分流化（三の丸地区）の想定スケジュールについて

年 度	内 容
4年度～5年度	・関係機関協議（宅地内排水設備に係るものを含む） ・設計
6年度～9年度	工事

1 6 堀川上中流部及び新堀川上流部における雨天時 水質調査結果について

(1) 堀川上中流部

ア 東水切町付近雨水吐室

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
3年 4月 4日	6 9	—	—
4月 1 4日	4 6	—	—
9月 9日	1 1	—	—
1 0月 1 3日	7 5	—	—
1 1月 9日	7 3	—	—
1 2月 1日	4 9	—	—
4年 2月 2 0日	5 8	—	—
4月 1 8日	4 5	1, 1 0 0	2, 0 0 0
4月 1 8日	3 2	9 7 0	6 6 0
6月 2 1日	6 8	1, 9 0 0	1, 1 0 0
7月 1 9日	4. 2	2 1 0	9 2
7月 1 9日	1 2	7 3	6 6
1 0月 7日	2 8	1, 4 0 0	9 6 0

(注1) 令和3年度は、BODのみ測定

(注2) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注3) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆☆☆

イ 小塩橋

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
3年 4月13日	1.0	480	110
4月13日	9.0	1,100	160
5月17日	1.1	480	63
5月21日	6.3	350	78
5月21日	5.0	230	90
6月 4日	6.3	38	8.0
6月 4日	4.6	110	25
7月 7日	3.6	55	5.0
7月 7日	4.8	70	13
8月 3日	5.7	650	170
8月 3日	5.3	310	65
11月 9日	4.6	39	6.4
11月 9日	3.4	34	9.0
11月22日	2.7	5.1	0.30
4年 4月18日	1.3	160	240
4月18日	2.1	280	540
6月14日	4.1	< 3	0.12
6月14日	9.6	1,400	540
6月21日	4.4	4.2	2.0
6月21日	4.7	28	5.6
7月19日	1.2	1,100	300
7月19日	4.6	560	37
8月17日	1.0	1,200	840
10月 7日	9.5	680	420
10月 7日	7.1	520	120

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆☆☆

(注3) 大腸菌群数の「< 3」は定量下限値未満を示す。

ウ 巾下橋付近雨水吐室

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
3年 5月21日	9.9	190	18
7月 7日	40	3,500	290
7月 7日	31	1,700	340
8月 3日	29	750	63
8月 3日	7.9	270	75
11月22日	35	200	16
4年 4月18日	18	110	340
6月21日	5.2	190	140
7月19日	20	7,100	700
10月 7日	14	1,000	760
10月 7日	22	660	170

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆☆☆

エ 新洲崎橋雨水吐口

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
3年 5月17日	37	9,300	1,900
5月21日	11	360	55
5月21日	10	330	58
6月 4日	37	5,500	1,200
7月 7日	34	3,300	1,100
7月 7日	25	2,800	490
8月 3日	39	8,500	1,500
8月 3日	27	3,900	380
11月 9日	22	3,800	1,100
11月 9日	17	1,800	1,000
11月22日	44	1,100	100
4年 4月18日	96	7,100	1,900
4月18日	49	1,800	1,200
6月21日	54	15,000	2,800
6月21日	21	2,800	6,200
7月19日	24	1,200	400
7月19日	25	880	230
10月 7日	31	2,800	1,200
10月 7日	60	5,400	1,000

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆☆☆

(2) 新堀川上流部

ア 千早交差点付近雨水吐室

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
3年 4月 4日	8.1	—	—
4月14日	3.9	—	—
5月17日	3.7	—	—
7月 2日	1.3	—	—
9月 9日	4.8	—	—
4年 6月 6日	3.1	3,900	600
6月21日	100	6,400	1,000
6月21日	70	1,900	540
7月19日	9.1	590	72
7月19日	15	1,100	180

(注1) 令和3年度はBODのみ測定

(注2) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注3) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆

イ 舞鶴橋

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
3年 4月13日	29	160	7.5
4月13日	25	98	5.0
5月17日	52	3,300	1,200
5月17日	41	3,300	900
5月21日	6.3	250	130
5月21日	5.2	290	60
6月 4日	46	770	85
6月 4日	21	540	70
7月 7日	37	14,000	5,200
7月 7日	45	11,000	2,100
8月 3日	28	3,900	950
8月 3日	29	3,000	1,100
11月 9日	21	820	140
11月 9日	15	160	76
11月22日	74	7,200	160
11月22日	50	1,800	62
4年 4月18日	38	1,400	620
4月18日	39	1,100	460
5月27日	9.0	< 3	0.002
6月 6日	53	3,200	160
6月 6日	11	460	34
6月21日	5.0	5.1	0.31
6月21日	53	2,800	2,600
7月 5日	14	12,000	920
7月 5日	24	13,000	1,000
7月19日	16	1,400	360
7月19日	15	1,000	170
7月19日	13	10	2.0
7月19日	12	< 3	0.032
10月 7日	25	100	180
10月 7日	38	< 3	0.060

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆

(注3) 大腸菌群数の「< 3」は定量下限値未満を示す。

ウ 若宮大通久屋交差点付近雨水吐室

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
3年 5月17日	4.6	3,700	1,500
5月21日	8.4	190	25
5月21日	9.1	260	40
6月 4日	60	3,700	2,100
6月 4日	42	1,900	1,200
7月 7日	68	5,400	2,400
7月 7日	27	2,200	190
8月 3日	53	19,000	2,700
8月 3日	44	6,900	1,100
11月 9日	21	190	240
11月 9日	28	520	760
11月22日	120	4,100	140
11月22日	31	420	120
4年 4月18日	46	990	820
4月18日	40	1,600	460
5月27日	8.8	550	10
6月 6日	46	3,400	960
6月 6日	23	2,200	200
6月21日	72	1,900	1,000
7月 5日	62	16,000	2,600
7月 5日	34	8,900	1,200
7月19日	47	5,600	1,900
7月19日	53	10,000	3,500
7月19日	19	600	120
7月19日	19	1,400	340
10月 7日	32	1,100	660
10月 7日	49	1,600	600

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆

エ 鶉橋左岸雨水吐口

調査日	BOD (mg/L)	大腸菌群数 (千個/100mL)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
3年 5月21日	6.3	250	83
5月21日	10	180	93
7月 7日	40	3,200	1,800
7月 7日	24	1,700	330
8月 3日	28	2,900	710
8月 3日	8.9	570	75
11月 9日	22	650	640
11月 9日	20	980	660
11月22日	93	2,300	260
4年 5月27日	11	< 3	0.018
6月 6日	22	4,100	760
6月 6日	38	1,500	160
6月21日	4.8	6.9	0.33
6月21日	39	1,500	560
7月19日	11	95	66
7月19日	8.7	110	19

(注1) 同じ調査日は、異なる時刻の調査結果

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆

(注3) 大腸菌群数の「< 3」は定量下限値未満を示す。

(参考) 公共用水域の水質常時監視結果

(1) 猿投橋

調査日	BOD (mg/L)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
3年 4月21日	1.9	0.49
5月12日	1.0	0.40
6月 2日	1.7	0.060
7月14日	0.8	0.95
8月 4日	1.6	1.7
9月 1日	0.9	0.22
10月 6日	1.2	0.10
11月10日	1.5	6.4
12月 6日	1.9	0.15
4年 1月 5日	1.0	0.20
2月 2日	2.7	0.38
3月 2日	1.2	0.24
4月13日	2.9	0.23
5月11日	1.5	0.12
6月 1日	1.7	0.31
7月13日	0.5	8.6
8月 3日	1.6	0.21
9月14日	1.2	0.57
10月 5日	0.8	0.43
11月 9日	2.2	0.60
12月 7日	0.6	0.20
5年 1月 5日	1.2	0.054

(注1) 公共用水域の水質常時監視結果 (環境局)

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆☆☆

(2) 小塩橋

調査日	BOD (mg/L)	ふん便性 大腸菌群数 (千個/100mL)
3年 4月21日	4.7	0.18
5月12日	3.0	0.42
6月 2日	7.6	4.1
7月14日	2.6	6.0
8月 4日	2.2	1.2
9月 1日	2.7	0.87
10月 6日	3.1	0.24
11月10日	4.8	2.2
12月 6日	1.5	0.35
4年 1月 5日	2.0	0.12
2月 2日	2.7	0.080
3月 2日	6.4	2.0
4月13日	3.7	0.15
5月11日	4.1	0.46
6月 1日	3.1	1.8
7月13日	3.9	2.20
8月 3日	1.4	0.35
9月14日	2.2	0.44
10月 5日	4.8	1.9
11月 9日	1.8	0.50
12月 7日	1.2	0.31
5年 1月 5日	1.6	0.29

(注1) 公共用水域の水質常時監視結果(環境局)

(注2) 水質汚濁に係る環境目標値の地域区分は河川☆☆☆

17 下水道事業における主な経費削減の検討項目について

(単位 千円)

検討項目	削減見込額
事務的経費の削減	27,309
施設運用による電力費の削減	3,203

1 8 厳しい経営状況下における広報について

(1) 趣旨

厳しい経営状況にある中、一時も欠かすことのできない上下水道事業の重要性や、現状と課題、今後の方向性について、お客さまにご理解ご協力を求める。

(2) 主な広報内容等

区 分	内 容
主 な 広報内容	・ ライフラインとしての上下水道事業の重要性 ・ これまでの経営改革や収益確保の取り組み ・ 経営状況が悪化していること、またその理由 ・ 今後の収支見通し ・ これから実施予定の災害への備えや老朽化への対策などの紹介
主 な 取り組み	・ 局公式ウェブサイトやSNS、イベントを活用した情報発信 ・ 広報なごや特集号による情報発信 ・ 若手職員の意見を取り入れた情報発信 ・ お客さまの元に出向く広報・広聴の推進

1 9 工事請負契約における 1 者入札の状況について

(令和 4 年度、単位 件)

契約金額	契約件数	落札率			
		90%未満	90%以上 95%未満	95%以上	100%
1 億円以上	2 5	0	8	1 7	2
1,000 万円以上 1 億円未満	1 0 4	0	1 1	9 3	1 2
1,000 万円未満	1 3 2	4	1 8	1 1 0	4 1
計	2 6 1	4	3 7	2 2 0	5 5

(注 1) 契約金額は当初契約時点のもので、消費税及び地方消費税を除く。

(注 2) 契約件数は令和 4 年 1 2 月末までの集計

(注 3) 競争入札による工事請負契約全体件数は 6 7 5 件